

表彰事業の名称	表彰対象者	受賞者	優れた取り組み
こころイコボス表彰	部下の仕事と子育ての両立を支援し、かつ業務効率を上げるなどの工夫をしている上司「イコボス」	<p><b>青戸 亨</b>                      ・企業名: 社会福祉法人島根ライトハウス                      ・役職: 理事長                      ・部下の人数: 281名</p> <p>※社会福祉法人島根ライトハウス                      ・所在地: 松江市                      ・業種: 社会福祉事業                      ・従業員数: 281名</p>	<p>○育休の取りやすい職場環境づくりに努めている                      ○女性の育休取得率は100%                      ○男性の育児休業の取得を促進するため、育休の一部を有給化し、男性の育児休業取得者が出てきている                      ○安心して仕事が続けられる環境を整えるために、子育てと心身のリフレッシュに視点を置き、育児休業、育児短時間勤務、有給休暇の取得を促す                      ○職場が働きやすく、長く働ける職場にするため、子育て支援を中心にワークライフバランスの充実を積極的に推進</p>
		<p><b>古志野 純子</b>                      ・企業名: 株式会社長岡塗装店                      ・役職: 常務取締役                      ・部下の人数: 24名</p> <p>※株式会社長岡塗装店                      ・所在地: 松江市                      ・業種: 建設業                      ・従業員数: 24名</p>	<p>○きめ細やかな配慮がなされた制度作り、利用促進                      ○子どもの看護休暇5日間(特別有給休暇)を30分単位で取得できるようにしている                      ○定時退社はもちろん、部下に事情を説明し堂々と休暇を取る                      ○育児中世代を応援してくれる高齢社員を大切にしている                      ○イコボスのモデル的存在、部下からの評価が高い                      ○資格試験を奨励し、上質な仕事の促進を図っている                      ○社員全員が仕事とプライベートの両方を充実させるように、積極的に推進</p>
		<p><b>實重 正樹</b>                      ・企業名: アサヒ工業株式会社                      ・役職: 代表取締役                      ・部下の人数: 23名</p> <p>※アサヒ工業株式会社                      ・所在地: 松江市                      ・業種: 建設業                      ・従業員数: 23名</p>	<p>○個人面談をし、子育て支援制度を利用しやすい風土づくりに努めている                      ○子の看護休暇(子ども1人当たり5日/年)の有給化                      ○中学校就学前の子を持つ従業員が利用できる学校行事休暇(有給休暇)を設けている                      ○情報共有ができる仕組み作り、誰かが休んでもお互いにフォローできる体制にしている                      ○社内でワークライフバランスの研修会を開催                      ○自ら、自治会活動やPTA会長など地域活動に参加し、部下にも参加を勧めている                      ○自ら子育てに積極的であるため、従業員も遠慮なく子育て参加できる</p>
		<p><b>重森 千枝</b>                      ・企業名: アースサポート株式会社                      ・役職: CSR推進室長                      ・部下の人数: 12名</p> <p>※アースサポート株式会社                      ・所在地: 松江市                      ・業種: 廃棄物処理業                      ・従業員数: 130名</p>	<p>○短時間勤務の女性社員に対し、無理のない働き方ができるように積極的にフォロー                      ○仕事にメリハリをつけ、自ら率先して定時に退社するなど、自分自身が部下の手本になっている                      ○自らの育児経験を基に、仕事と子育ての両立ができる職場づくりを心がけている                      ○業務が遅延しそう時には、周りのサポートが得られるように働きかけ</p>